



平成29年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年11月11日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 安楽亭

コード番号 7562 URL <http://www.anrakutei.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 柳 時機

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 安部 一夫

TEL 048-859-0555

四半期報告書提出予定日 平成28年11月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト、機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第2四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第2四半期	8,418	△3.3	139	△65.3	125	△67.6	60	△73.9
28年3月期第2四半期	8,705	△0.4	400	8.7	388	65.4	231	△29.1

(注)包括利益 29年3月期第2四半期 56百万円 (△75.5%) 28年3月期第2四半期 232百万円 (△29.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第2四半期	28.24	—
28年3月期第2四半期	108.04	—

※当社は、平成28年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施しております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第2四半期	14,523	6,219	42.8
28年3月期	14,257	6,162	43.2

(参考)自己資本 29年3月期第2四半期 6,219百万円 28年3月期 6,162百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
29年3月期	—	0.00	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	16,920	△0.9	280	△46.6	240	△51.9	90	△77.7	42.08

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※当社は、平成28年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施しております。平成29年3月期の通期の連結業績予想における1株当たり当期純利益につきましては、当該株式併合の影響を考慮しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

29年3月期2Q	2,150,434 株	28年3月期	2,150,434 株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

29年3月期2Q	11,699 株	28年3月期	11,628 株
----------	----------	--------	----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

29年3月期2Q	2,138,786 株	28年3月期2Q	2,138,888 株
----------	-------------	----------	-------------

※当社は、平成28年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施しております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、期末発行済株式数、期末自己株式数及び期中平均株式数を算定しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

当社は、平成28年11月18日に証券アナリスト及び機関投資家向けの四半期決算説明会を開催する予定です。この説明会で配布する決算説明会資料については、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、株価、為替の不安定な動きを背景に企業収益の改善ペースの鈍化や個人消費の停滞感が続いております。また、中国経済の景気減速懸念や英国のEU離脱問題、原油安等、世界経済の下振れリスクが顕在化し始める等、景気は先行き不透明な状況で推移いたしました。

外食業界におきましては、牛肉等の原材料価格の高騰や人手不足感が継続しており、また、消費者の節約志向が強まり、低価格志向等、景況感に改善の動きが見られず、依然として厳しい経営環境が続いております。

このような環境の下、当社グループは、経営理念である「食を通じて地域社会の豊かな生活文化の向上に貢献する」に基づき、お客様のご要望に合う魅力あふれる「安全・安心」に配慮した商品の提供に加え、おもてなしの心を込めたサービスの提供に努めてまいりましたが、梅雨明けの遅れや台風等の天候不順等による夏場の不調が長引きました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高84億18百万円（対前年同期比3.3%減）、営業利益1億39百万円（対前年同期比65.3%減）、経常利益1億25百万円（対前年同期比67.6%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益60百万円（対前年同期比73.9%減）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

① 安楽亭業態

安楽亭業態の当第2四半期連結会計期間末の店舗数は195店舗であります。内訳は直営155店舗、暖簾8店舗、FC32店舗であります。

販売促進及び商品開発につきましては、「笑顔満開フェア」、「スタミナアップ応援フェア」、「スクラッチ大チャンスフェア」等、安楽亭の楽しさを伝えるフェアや「ミルクキーかき氷」等のメニュー作りを行ってまいりました。

以上の結果、安楽亭業態の当第2四半期連結累計期間の売上高は71億87百万円（対前年同期比4.1%減）となり、セグメント利益（営業利益）は4億81百万円（対前年同期比17.0%減）となりました。

② 七輪房業態

七輪房業態の当第2四半期連結会計期間末の店舗数は、5月23日に「大宮駅前店」、8月8日に「鹿浜店」を出店し26店舗であります。内訳は直営23店舗、暖簾1店舗、FC2店舗であります。

販売促進及び商品開発につきましては、「春の行楽応援フェア」、「GWおでかけ満喫フェア」、「ハイボールフェア」、「ホルモンで秋呑みフェア」等、七輪房の楽しさを伝えるフェアを行ってまいりました。

以上の結果、七輪房業態の当第2四半期連結累計期間の売上高は10億75百万円（対前年同期比2.9%増）となり、セグメント利益（営業利益）は31百万円（対前年同期比70.4%減）となりました。

③ その他業態

その他業態の当第2四半期連結会計期間末の店舗数は9店舗であります。内訳は直営3店舗、FC6店舗であります。

なお、その他業態には、「からくに屋（焼肉）」、「国産牛カルビ本舗安楽亭（焼肉）」、「和牛カルビ屋（焼肉）」、「春秋亭（和食）」、「上海菜館（中華）」、「龍饗（中華）」、「AGRICOCO（イタリアン）」、「カフェビーンズ（喫茶）」を含んでおります。

以上の結果、その他業態の当第2四半期連結累計期間の売上高は1億56百万円（対前年同期比6.0%減）となり、セグメント利益（営業利益）は9百万円（対前年同期比9.9%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 財政状態の状況

当第2四半期連結会計期間末の資産は、前連結会計年度末に比べ2億65百万円増加し、145億23百万円となりました。これは、新規出店及び既存店改装による有形固定資産の増加等が要因です。負債は、前連結会計年度末に比べ2億9百万円増加し、83億4百万円となりました。これは、新規出店及び既存店改装資金としての借入金の増加等が要因です。純資産は、前連結会計年度末に比べ56百万円増加し、62億19百万円となりました。これは、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上等が要因です。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ、43百万円減少し、21億87百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益の計上1億19百万円、減価償却費の計上2億83百万円等により4億64百万円の収入となりました。前年同期と比べ2億20百万円(対前年同期比90.4%)の収入の増加となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出6億95百万円、敷金及び保証金の差入による支出30百万円、敷金及び保証金の回収による収入32百万円等により6億92百万円の支出となりました。前年同期と比べ6億25百万円(対前年同期比936.9%)の支出の増加となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは、長期借入れによる収入5億60百万円、長期借入金の返済による支出2億85百万円等により1億84百万円の収入となりました。前年同期は4億18百万円の支出でありました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、平成28年5月12日に公表いたしました業績予想から変更しております。詳しくは、平成28年11月10日に公表いたしました「特別損益の計上及び業績予想(連結・個別)の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

なお、業績予想につきましては、本資料の発表日において入手可能な情報に基づき当社で判断したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想と異なる場合があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ13,135千円増加しております。

(4) 追加情報

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,232,869	2,188,904
受取手形及び売掛金	350,384	299,448
商品及び製品	146,473	142,195
仕掛品	778	1,091
原材料及び貯蔵品	585,936	509,020
前払費用	204,629	213,087
繰延税金資産	77,001	76,474
その他	111,762	116,610
貸倒引当金	—	△772
流動資産合計	3,709,836	3,546,060
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,447,150	2,772,045
機械装置及び運搬具（純額）	58,426	78,836
工具、器具及び備品（純額）	217,656	321,024
土地	4,978,239	5,004,097
リース資産（純額）	135,248	114,414
建設仮勘定	3,288	2,715
有形固定資産合計	7,840,009	8,293,135
無形固定資産		
投資その他の資産		
投資有価証券	72,589	67,559
長期貸付金	8,309	7,497
長期前払費用	16,363	22,161
繰延税金資産	93,679	94,683
敷金及び保証金	2,358,936	2,354,386
その他	70,993	42,300
貸倒引当金	△27,955	△26,793
投資その他の資産合計	2,592,916	2,561,795
固定資産合計	10,547,790	10,977,157
資産合計	14,257,627	14,523,218

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	563,250	471,808
短期借入金	549,289	645,028
リース債務	47,233	46,368
割賦未払金	134,266	146,968
未払金	337,911	358,888
設備関係未払金	137,577	66,348
未払費用	477,472	468,327
未払法人税等	398	92,914
未払消費税等	81,427	72,140
賞与引当金	86,912	88,900
転貸損失引当金	7,537	7,537
その他	396,246	351,551
流動負債合計	2,819,523	2,816,780
固定負債		
長期借入金	4,008,827	4,187,425
リース債務	101,587	77,990
長期割賦未払金	431,352	489,894
繰延税金負債	103,419	103,354
役員退職慰労引当金	319,987	327,496
転貸損失引当金	43,152	39,384
退職給付に係る負債	189,698	181,741
その他	77,454	79,954
固定負債合計	5,275,478	5,487,240
負債合計	8,095,001	8,304,021
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,182,385	3,182,385
資本剰余金	2,537,261	2,537,261
利益剰余金	523,172	583,564
自己株式	△69,349	△69,673
株主資本合計	6,173,469	6,233,537
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△10,844	△14,340
その他の包括利益累計額合計	△10,844	△14,340
純資産合計	6,162,625	6,219,197
負債純資産合計	14,257,627	14,523,218

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
売上高	8,705,788	8,418,345
売上原価	3,125,640	2,957,791
売上総利益	5,580,148	5,460,554
販売費及び一般管理費	5,179,625	5,321,480
営業利益	400,522	139,073
営業外収益		
受取利息	15,138	997
受取配当金	1,116	1,251
受取地代家賃	5,163	5,203
貸倒引当金戻入額	358	389
その他	17,758	25,447
営業外収益合計	39,534	33,288
営業外費用		
支払利息	47,045	40,658
その他	4,561	5,920
営業外費用合計	51,607	46,579
経常利益	388,450	125,783
特別利益		
固定資産売却益	1,050	196
転貸損失引当金戻入額	8,189	—
受取保険金	216	30,897
特別利益合計	9,455	31,094
特別損失		
固定資産除却損	12,688	1,601
減損損失	5,202	36,190
賃貸借契約解約損	9,722	—
特別損失合計	27,612	37,791
税金等調整前四半期純利益	370,292	119,085
法人税、住民税及び事業税	135,414	57,700
法人税等調整額	3,788	992
法人税等合計	139,202	58,693
四半期純利益	231,089	60,392
親会社株主に帰属する四半期純利益	231,089	60,392

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
四半期純利益	231,089	60,392
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,216	△3,496
その他の包括利益合計	1,216	△3,496
四半期包括利益	232,305	56,896
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	232,305	56,896

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	370,292	119,085
減価償却費	210,671	283,545
減損損失	5,202	36,190
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△358	△389
賞与引当金の増減額(△は減少)	2,140	1,987
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	13,875	7,509
転貸損失引当金の増減額(△は減少)	△14,357	△3,768
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	1,055	△7,956
受取利息及び受取配当金	△16,254	△2,248
支払利息	47,045	40,658
固定資産売却損益(△は益)	△1,050	△196
受取保険金	△216	△30,897
固定資産除却損	12,688	1,601
賃貸借契約解約損	9,722	—
売上債権の増減額(△は増加)	35,077	50,936
たな卸資産の増減額(△は増加)	18,131	80,880
前渡金の増減額(△は増加)	△1,744	△8,888
仕入債務の増減額(△は減少)	△29,616	△91,441
未払金の増減額(△は減少)	△1,409	20,977
未払消費税等の増減額(△は減少)	△110,427	△9,286
未払費用の増減額(△は減少)	△19,828	△9,135
預り金の増減額(△は減少)	△62,520	△15,600
前受収益の増減額(△は減少)	△28,850	△18,753
その他	△6,589	5,402
小計	432,679	450,211
利息及び配当金の受取額	15,281	1,420
利息の支払額	△47,344	△44,200
保険金の受取額	216	43,305
店舗閉鎖に伴う支払額	△675	—
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△156,384	13,467
営業活動によるキャッシュ・フロー	243,773	464,204

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	200,000	—
有形固定資産の取得による支出	△296,570	△695,121
有形固定資産の売却による収入	1,050	390
有形固定資産の除却による支出	△5,800	—
無形固定資産の取得による支出	△21,660	△24,035
敷金及び保証金の差入による支出	—	△30,885
敷金及び保証金の回収による収入	48,000	32,149
預り保証金の受入による収入	4,420	2,500
貸付金の回収による収入	2,516	779
投資その他の資産の増減額 (△は増加)	1,269	21,856
投資活動によるキャッシュ・フロー	△66,775	△692,366
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△80,000	—
長期借入れによる収入	266,000	560,000
長期借入金の返済による支出	△544,586	△285,663
割賦債務の返済による支出	△36,153	△68,114
リース債務の返済による支出	△23,193	△21,842
自己株式の取得による支出	△220	△324
財務活動によるキャッシュ・フロー	△418,153	184,055
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	141
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△241,155	△43,965
現金及び現金同等物の期首残高	2,155,396	2,231,853
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,914,241	2,187,888

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	安楽亭業態	七輪房業態	その他業態	計			
売上高							
外部顧客への売上高	7,494,641	1,045,005	166,142	8,705,788	8,705,788	—	8,705,788
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	7,494,641	1,045,005	166,142	8,705,788	8,705,788	—	8,705,788
セグメント利益	579,910	105,484	10,838	696,234	696,234	△295,711	400,522

(注) 1. セグメント利益の調整額は全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「安楽亭業態」セグメントにおいて、減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間においては5,202千円であります。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	安楽亭業態	七輪房業態	その他業態	計			
売上高							
外部顧客への売上高	7,187,055	1,075,196	156,093	8,418,345	8,418,345	—	8,418,345
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	7,187,055	1,075,196	156,093	8,418,345	8,418,345	—	8,418,345
セグメント利益	481,176	31,190	9,765	522,133	522,133	△383,059	139,073

(注) 1. セグメント利益の調整額は全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

会計方針の変更に記載のとおり、法人税法の改正に伴い、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更したため、事業セグメントの減価償却の方法を同様に変更しております。

当該変更により、従来の方法に比べて、当第2四半期連結累計期間の「安楽亭業態」のセグメント利益が6,716千円増加し、「七輪房業態」のセグメント利益が6,266千円増加し、「その他業態」のセグメント利益が152千円増加しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「安楽亭業態」セグメントにおいて、減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間においては36,190千円であります。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。